

令和2年2月20日

小布施町長 市村良三様

小布施町基本構想審議会
会長 桜井昌季

第六次小布施町総合計画の策定について（答申）

令和元年7月17日付、企政第231号で諮問のありました「第六次小布施町総合計画の策定」について、当審議会で慎重に審議を重ねてきました。今日の目まぐるしく変化する社会経済情勢の中、総合計画の役割や位置付け、先人が培った町の歴史や文化、そして豊かな風土を舞台に、施策の方向と基本目標に加えて総合的な振興、発展などを目的とした総合計画と人口減少克服・地方創生の総合戦略などを踏まえて審議した結果、基本構想の実現を目指した基本計画の考え方と内容については、概ね妥当であると認め、ここに答申します。

今後、この答申を尊重して、「未来にありたい姿 小布施町」の実現を目指し、協働と交流によるまちづくり、人口の維持、地域の活性化と地域福祉の充実を図るための総合計画を決定するとともに、下記の事項に配慮して計画の推進を図られるよう要望します。

記

- 1 今後5年のまちづくりに対する総合計画の基本理念及び六つの施策に基づき施策を展開し、町民が将来もずっと暮らし続けるまち及び地域で働く人が暮らしの場として憧れるまちの実現を望みます。
- 2 人口減少や高齢化の進展といった社会構造の大きな転換期の中、社会経済情報の変化や多様化する町民ニーズを的確に捉えながら計画の着実な実施を望みます。
- 3 行政情報の公開や提供を積極的に行い、また、計画の説明と周知に努めつつ町民との情報共有を図りながら協働によるまちづくりの推進を望みます。
- 4 計画の推進においては、関連事業の選択と集中により費用対効果を最大限に高めるように努めること、また、厳しい財政状況の中、さらなる行財政改革に努めるとともに財源の確保を望みます。

なお、審議の過程で、各委員から出された意見等につきましては、基本計画の策定にあたり十分尊重されるよう要望いたします。